

## 「野口英世アフリカ賞」の運営の改善に向けた有識者懇談会（第3回）

### 議事概要

1. 日 時 令和2年10月15日（木）17：30～18：30

2. 場 所 中央合同庁舎8号館928会議室

3. 出席者

（委員）

池上 清子 長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科教授

黒川 清 政策研究大学院大学名誉教授

杉下 智彦 東京女子医科大学教授

ピーター・ピオット ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院（英国）学長

ミリアム・ウェレ モイ大学（ケニア）前総長

（政府側）

村田 優久夫 内閣府大臣官房企画調整課野口英世アフリカ賞担当室長

4. 議事概要

（1）事務局から以下を説明

○ 新総理の就任

9月16日に新たに菅義偉前官房長官が総理大臣に就任された。菅総理は8年近くにわたり官房長官として安倍総理を支えてこられ、主管大臣として野口英世アフリカ賞についても熟知されている。

○ 第3回懇談会の議題

- ・ 第1回及び第2回の会合で、野口賞の「公募方法の改善」、「選考委員・プロセス・基準」、そして「広報の強化」に関して議論いただいた。3つの分野に関する論点とその背景、そして論点に関する「提言」を、「野口英世アフリカ賞の運営の改善に向けた有識者懇談会報告書」（案）としてまとめた。報告書原案は各委員に送付し、コメントをいただき、そのコメントを反映したものを報告書案及び報告書概要案としてまとめた。
- ・ 本日は、この2つの文書を使って、最終的な報告書を確定いただきたい。

（2）委員による議論

- 上記の「公募方法の改善」、「選考委員・プロセス・基準」、そして「広報の強化」の3つの分野の各論点、および3分野には分類されないその他の提言の各々を確認した。下記のように、報告書案の一部については表現の修正等の調整をおこなう必要があることが指摘された。表現の調整については、メールで各委員に送付し、成案を確定するとのコンセンサスができた。
- ・ （杉下委員、池上委員）アフリカは、英語圏、仏語圏だけでないので、より適切な表現をすべきで

ある。

- ・（黒川座長、ウェレ委員）アフリカにおける日本人の活動について、より適切な表現を使うべきである。

（3）今後の進め方について

- 事務局から、今後の進め方について、報告書の成案を確定し、報告書を総理に年内を目途に提出するよう準備する旨説明を行い、委員に了承された。